



第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



■開催概要

- シリーズ名称 : 第61回 NGKスパークプラグ杯 2025鈴鹿サンデーロードレース最終戦
- 主催 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット
- 協賛 : 日本特殊陶業株式会社
- 会場 : 鈴鹿サーキット フルコース (5.821km)
- 参加台数 : 総参加台数.....222台

インターJP250	8台
ナショナルJP250.....	37台
インターJ-GP3.....	9台 (内、HRC NSF250R Challenge.....1台)
ナショナルJ-GP3.....	15台 (内、HRC NSF250R Challenge.....9台)
インターST1000	24台
ナショナルST600	53台
インターJSB1000	24台
インターST600.....	24台
ナショナルST1000.....	28台
- 開催日 : 2025年11月8日(土)・9日(日)
- 天候/路面 : (8日) 晴れのち曇り/ドライ、(9日) 雨/ウェット

※2025年の鈴鹿サンデーロードレースは、この大会でシリーズ日程を終了いたしました。

皆様のご理解とご協力、またご声援に感謝申し上げます。

2026年の暫定レースカレンダーは以下の通り発表いたしました(右QRコードからもDLできます)。

<https://apps.mobilityland.co.jp/info/download/iS8ANT/169890>

開催の詳細につきましては、別途あらためてご案内いたしますので、引き続き、鈴鹿サンデーロードレースへのご参加、ご協賛、ご声援をよろしくお願いいたします。



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/



★レース写真は、バトルファクトリー様のウェブサイトでご購入いただけます。
<http://www.battle.co.jp/>



恒例となっている参加チーム・エントラントによるコース上集合写真。回を重ねるごとに各チームともアピールが上手になってきている

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



ついに迎えた2025 鈴鹿サンデーロードレース最終戦! 恒例の「NGKスパークプラグ杯」で全チャンピオンが決定!!

全日本ロードレース選手権のみならず、アジアや世界へとつながる競技志向の強いレースシリーズである鈴鹿サンデーロードレース。ようやく暖かくなってきた4月19日(土)・20日(日)に2025年シーズンが開幕し、その後、梅雨の時期の晴れ間に行われた6月7日(土)・8日(日)の第2戦、厳しい残暑のもとで開催された9月20日(土)・21日(日)の第3戦と続き、今回の第4戦が2025年シーズンの最終戦となった。

ステップアップを目指す若手やビギナーから長年レースを戦うベテランまで、幅広いライダーがしのぎを削ることと知られるこのシリーズは毎戦多くの参戦台数を集めている。特に、開幕戦に35台、第2戦に43台、第3戦に41台と、これまで特に多くのライダーが参戦してきたナショナルST600には今回はシーズン最多の53台が参加。A・Bふたつのグループに分けて行われた11月8日(土)の公式予選からタイムアタック合戦が披露され、翌9日(日)の決勝レースでもヘビーレインの中で激しいバトル展開された。また、JSB1000、ST600の両インタークラスには全日本選手権などで活躍するライダーも参戦。予選から決勝まで圧巻の走りが見られた。

今回は最終戦ということもあり、その他のカテゴリーでもチャンピオンを獲得すべく、エントラントたちがいつも以上に激しいバトルを展開した。毎戦見どころが多いインター／ナショナルJP250およびインター／ナショナルJ-GP3の軽量級レースではファイナルラップのシケインで激しい突っ込み合戦も披露され、文字通り最後の最後までひと時も目が離せない展開となった。

さて、鈴鹿サンデーロードレースの最終戦と言えば、「NGKスパークプラグ杯」の名で親しまれる恒例の大会。日本特殊陶業株式会社様ご協賛の元で行われ、全カテゴリーのシリーズチャンピオンが決まったこの伝統の一戦を最後に、2025年シーズンの鈴鹿サンデーロードレースが無事閉幕した。



全戦が2DAY大会として行われた今シーズンの鈴鹿サンデーロードレース。今回は11月8日(土)に全カテゴリーの公式予選とインター／ナショナルJP250の決勝レース(写真:スターティンググリッド)が行われた

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



レースレポート(1)

JP250 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■インター／ナショナルJP250 YouTubeライブ動画アーカイブ

11月8日(土)の最初に行われたこのカテゴリーの公式予選では鈴木未来翔がこれまでのコースレコードを更新する2分27秒692をマーク。唯一の2分27秒台となったそのタイムが今回のポールタイムとなった。

決勝レースではスタート直後にクラッシュするマシンがあったことにより、赤旗が出されてレースは中断。再スタート後はポールポジションスタートの鈴木(未)が良い蹴り出しを見せるが、2コーナー立ち上がりでその鈴木(未)がコースアウトする。2番グリッドスタートの渡辺瑛貴と4番グリッドスタートの鈴木悠大がサイドbyサイドのバトルを展開。渡辺、鈴木(悠)、7番グリッドスタートの船田俊希でオーダーでオープニングラップを終了すると、その3台がトップ集団を形成する。船田がその先頭に。しかし、大きく順位を落としていた鈴木(未)が3周目にトップに浮上する。その後も鈴木(未)を先頭に、渡辺、鈴木(悠)、船田、澤合柊、市原一優、中川空嶺の7台がトップ集団を形成したが、船田が優勝。2位チェッカーの鈴木(悠)がインターJP250を制し、同カテゴリーのチャンピオンを獲得した。総合3位となった鈴木(未)がナショナルJP250のウィナーに輝き、同カテゴリーのチャンピオンとなった。



JP250決勝レース(11/8)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



インターJP250表彰式(優勝:船田 俊希、2位:鈴木 悠大:2025チャンピオン、3位:三浦 雄一)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



JP250 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■インター／ナショナルJP250



ナショナルJP250表彰式 (優勝: 鈴木 未来翔: 2025チャンピオン, 2位: 中川 空嶺, 3位: 市原 一優)



JP250車両銘柄賞表彰式 (Honda賞: 鈴木 未来翔, YAMAHA賞: 中川 空嶺, KAWASAKI賞: 神吉龍成, KTM賞: 中尾正太)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



JP250 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■インター／ナショナルJP250 正式決勝結果



Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No 18

Weather : Cloudy
Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Rider	Team	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	25	INT	1	船田 俊希	YTR Honda/	DL	8	19'50.804			R2'27.556	
2	16	INT	2	鈴木 悠大	kicks-sus.com Honda/	DL	8	19'51.246	0.442	0.442	2'27.785	
3	39	NAT	1	鈴木 未来翔	M-Support三木物流 TOHO Honda/	DL	8	19'51.497	0.693	0.251	2'27.807	
*1	4	11	NAT	2	中川 空嶺	AURA SPORTS YAMAHA/YZF-R3	DL	8	19'56.153	5.349	4.656	2'28.444
*2	5	12	NAT	3	市原 一優	SDG N-PLAN Racing Honda/	DL	8	19'56.255	5.451	0.102	2'28.510
6	47	NAT	4	澤合 柊	AK1TECH Honda/	DL	8	19'56.549	5.745	0.294	2'28.512	
7	46	NAT	5	林 夢乃	チームゆめ77IEC+D-nut's Honda/	DL	8	20'09.707	18.903	13.158	2'30.407	
8	37	NAT	6	南 博之	TeamみなみFamily Honda/	DL	8	20'09.926	19.122	0.219	2'30.256	
9	36	INT	3	三浦 雄一	FAST with Nojima&IRCO. Honda/	DL	8	20'10.825	20.021	0.899	2'30.399	
10	95	NAT	7	福井 宏至	YTR+J.COMPE Honda/	DL	8	20'25.407	34.603	14.582	2'31.794	
11	80	NAT	8	KIM JEONGGIL	AURA SPORTS Honda/	DL	8	20'31.972	41.168	6.565	2'32.660	
*1	12	6	NAT	9	塚脇 涼太	Team BabyFace YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'32.088	41.284	0.116	2'30.447
*1	13	62	NAT	10	高橋 瑠嘉	磐田レーシングファミリー YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'34.173	43.369	2.085	2'32.983
14	27	NAT	11	川口 義仁	AK1TECH Honda/	DL	8	20'35.759	44.955	1.586	2'32.526	
15	31	NAT	12	田川 浩明	FASTクレオネットwith Nojima Honda/	DL	8	20'36.070	45.266	0.311	2'33.189	
16	29	INT	4	小野 雅治	磐田レーシングファミリー YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'36.164	45.360	0.094	2'33.374	
17	50	NAT	13	神吉 龍成	Team能塚&B-SQUARE&かおるフレンズ Kawasaki/ZX-25R	DL	8	20'38.073	47.269	1.909	2'33.502	
18	3	NAT	14	神山 保男	G3 Racing Project Honda/	DL	8	20'38.717	47.913	0.644	2'33.748	
*3	19	9	NAT	15	片田 泰志	Team BabyFace YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'39.740	48.936	1.023	2'30.259
20	15	NAT	16	齊藤 将広	2436GO WORKMAN+藤本電機 YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'40.792	49.988	1.052	2'33.652	
21	14	NAT	17	橋本 竜弥	Team 橋本組 Honda/	DL	8	20'43.870	53.066	3.078	2'34.323	
22	78	NAT	18	栗田 学	立秋モータースRC甲子園ファンファクトリー YAMAHA/YZF-R3	DL	8	20'44.295	53.491	0.425	2'34.099	
23	83	NAT	19	安室 貴裕	(I'<<<(((CASE BALZ STORE MOTO Honda/	DL	8	21'06.877	1'16.073	22.582	2'36.570	
24	41	NAT	20	堤 寿浩	ハナ井+YTR Honda/	DL	8	21'07.545	1'16.741	0.668	2'37.039	
25	63	NAT	21	中尾 正太	SN63 With KTM名古屋 KTM/RC390	DL	8	21'07.577	1'16.773	0.032	2'37.586	
26	91	NAT	22	市岡 洋一郎	Classe moto team Honda/	DL	8	21'08.300	1'17.496	0.723	2'36.865	
27	48	INT	5	小池 信一郎	山科カワサキKENRACING Kawasaki/ZX-25R	DL	8	21'08.729	1'17.925	0.429	2'37.466	
28	24	NAT	23	大西洋	(I'<<<(((CASE BALZ STORE MOTO Honda/	DL	8	21'11.520	1'20.716	2.791	2'37.178	
29	19	NAT	24	船越 行洋	Team HIRO Honda/	DL	8	21'12.072	1'21.268	0.552	2'37.248	
30	7	INT	6	隣 淳二	SUZUKA R&D YAMAHA/YZF-R3	DL	8	21'13.384	1'22.580	1.312	2'37.070	
31	23	NAT	25	張 鳴駿	club M-Factory&モチーモータース Honda/	DL	8	21'21.763	1'30.959	8.379	2'38.366	
32	5	NAT	26	玉井 雄拓	Racing team zest Honda/	DL	8	21'27.060	1'36.256	5.297	2'38.226	
33	53	NAT	27	原田 豪	Team EBATA Power One Stop YAMAHA/YZF-R3	DL	8	21'27.415	1'36.611	0.355	2'38.949	
34	22	NAT	28	河野 弘樹	Club BATTLE Honda/	DL	8	21'32.109	1'41.305	4.694	2'39.683	
35	77	NAT	29	HAN GYUBOK	Nojima with GBHAN Honda/	DL	8	21'32.596	1'41.792	0.487	2'39.778	
36	96	NAT	30	山本 信二	山科カワサキKENクラブ クシタニ京都 Kawasaki/ZX-25R	DL	8	21'53.222	2'02.418	20.626	2'42.362	
37	67	NAT	31	舟村 正基	Club BATTLE Honda/	DL	8	21'59.771	2'08.967	6.549	2'43.563	
38	75	NAT	32	横野 喜也	Team EBATA & H-make&PowerOneStop Honda/	DL	8	22'29.853	2'39.049	30.082	2'40.465	
39	86	NAT	33	東松 範暁	ふじはし303-Racing Honda/	DL	8	22'44.127	2'53.323	14.274	2'48.531	
40	43	NAT	34	野平 仁	8810R Honda/	DL	7	19'57.867	1Lap	1Lap	2'48.879	
***** 以上チェッカー *****												
41	8	INT	7	渡辺 瑛貴	AK1TECH Honda/	DL	7	17'23.007	1Lap	-	2'28.245	
***** 以上完走 (規定周回数 : 6Laps) *****												
4	INT	金山 和弘		Team 橋本組	Honda/	DL	3	8'42.188	5Laps	-	2'47.065	
33	NAT	小林 崇晶		TEAM TEC2 & Miller Time & YSS	Honda/	DL		出走せず				
44	NAT	松本 栄直		MC Racing with 8810R SF	Honda/	DL		出走せず				

Fastest Lap

INT	2'27.556 (8 / 8)	142.018 km/h	25	船田 俊希 / YTR
NAT	2'27.807 (7 / 8)	141.777 km/h	39	鈴木 未来翔 / M-Support三木物流 TOHO

Start Time : 14:57'57 Finish Time : 15:17'47

Entry : 44 Start : 42 Finish : 41

*1 No.11, 6, 62は、訓戒(始末書提出) MFJ国内競技規則 第3章 15-2 (他車を援助しながら走行)
*2 No.12は、訓戒(始末書提出) MFJ国内競技規則 第3章 15-2 (他車の援助を受けて走行)
*3 No.9は、競技結果に30秒加算(始末書提出) MFJ国内競技規則 付則4 4-1-3-1(黄旗区間中の追越)
MFJ国内競技規則付則4 24-1-2を適用し、再レースとした。(赤旗掲示時刻 14:31'15)
銘柄賞 (Class NAT): (ホンダ賞 No.39/ヤマハ賞 No.11/カワサキ賞 No.50/KTM賞 No.63)
GET-HOT賞、XPD賞、ジュベットレザーハウス賞は各クラス1位から3位が対象。
hit-air賞 No.16、39



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



レースレポート(2)

■インター／ナショナルJ-GP3・HRC NSF250R Challenge YouTubeライブ動画アーカイブ

公式予選では富樫虎太郎がレコードを更新する2分18秒686をマーク。それに長谷川蒼馬、戸高綸太郎が続き、Team HRSが予選上位3位を占めた。ウェット宣言が出され、8周に減算されて行われた決勝レースでは2番グリッドスタートの長谷川、3番グリッドスタートの戸高、ポールポジションスタートの富樫のオーダーに、4番グリッドスタートの中嶋昂士が富樫をパス。長谷川、戸高、中嶋は等間隔となり、そのオーダーでオープニングラップを帰ってくる。2周目のヘアピンでは戸高が長谷川のテールに接近。しかし、長谷川が再び戸高を引き離す。長谷川は2周目に唯一の2分38秒台となる2分38秒773をマーク。3周目も戸高が長谷川のテールに接近するが、続くスプーンカーブで長谷川が戸高を引き離す展開になる。長谷川、戸高ともに2分37秒台で3周目をラップ。その後もその2台はテールtoノーズのバトルを展開する。7周目に戸高が長谷川をパスするが、長谷川が再び前に。結局、長谷川がトップチェッカーを受けると同時にナショナルJ-GP3のウィナーに。同カテゴリーのチャンピオンは富樫だった。2位チェッカーの戸高がインターJ-GP3のウィナーに輝き、同カテゴリーのチャンピオンを獲得した。



J-GP3決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



インターJ-GP3表彰式(優勝:戸高綸太郎:2025チャンピオン、2位:中嶋昂士、3位:金子寛)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



■インター／ナショナルJ-GP3・HRC NSF250R Challenge



ナショナルJ-GP3表彰式(優勝:長谷川蒼馬、2位:富樫虎太郎:2025チャンピオン、3位:岩野偉大)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



■インター／ナショナルJ-GP3・HRC NSF250R Challenge 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

No 20

Weather :Rain

Track :Wet

Full Course 2-Wheels(5,821m)

Pos	No	Class	C.P.	NSF	Rider	Team	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	51	NAT	1	1	GC 長谷川 蒼馬	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	8	21'03.609		2'36.229
2	19	INT	1	2	GC 戸高 輪太郎	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	8	21'04.982	1.373	2'36.494
3	54	INT	2		中嶋 昂士	Team BATTLE	Honda/NSF250R	DL	8	21'16.165	12.556	2'37.884
4	56	NAT	2	3	GC 富樫 虎太郎	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	8	21'23.810	20.201	2'39.314
5	39	INT	3		金子 寛	らいらく企画 with RG NIWA	Honda/NSF250R	BS	8	21'24.866	21.257	2'38.499
6	53	NAT	3	4	GC 岩野 偉大	BATTLE FACTORY	Honda/NSF250R	DL	8	21'26.453	22.844	2'38.642
7	8	INT	4		吉田 忠幸	吉田工建&T.カレッジ	Honda/NSF250R	BS	8	21'54.731	51.122	2'41.468
8	24	INT	5		村田 憲彦	TEAM DESHI with RG NIWA	Honda/NSF250R	BS	8	22'00.676	57.067	2'43.125
9	1	INT	6		岩田 吉正	Team BATTLE	Honda/NSF250R	DL	8	22'02.360	58.751	2'42.965
10	72	INT	7		岸田 慶一	FLEX Racing&ちーむ とらお.	Honda/NSF250R	BS	8	22'12.707	1'09.098	2'44.589
11	12	NAT	4	5	久原 昂士	RP54 with 島崎設備(株)	Honda/NSF250R	DL	8	22'12.810	1'09.201	2'44.583
12	27	NAT	5	6	GC 山本 瑠生哉	TEAMいわくらふと+AK1TECH	Honda/NSF250R	DL	8	22'16.951	1'13.342	2'44.435
13	31	NAT	6	7	GC 森本 貴汐	Team HIRO	Honda/NSF250R	DL	8	22'55.665	1'52.056	2'48.065
14	55	NAT	7		池 義彦	team55	Honda/NSF250R	BS	8	22'57.581	1'53.972	2'49.937
15	36	INT	8		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	Honda/NSF250R	BS	8	23'01.801	1'58.192	2'50.652
16	10	NAT	8		田嶋 勇輝	Team BATTLE	Honda/NSF250R	DL	8	23'10.360	2'06.751	2'51.608
17	35	NAT	9		村上 正也	Team MURAKAMI with K&T	Honda/NSF250R	BS	8	23'44.320	2'40.711	2'55.872
18	33	NAT	10		江上 淳夫	ド'ウキョウシャレーシングチーム with RG NIWA	Honda/NSF250R	BS	8	24'01.712	2'58.103	2'56.469
19	38	INT	9		井利元 新	PlanBee Racing MTR	Honda/NSF250R	BS	7	21'26.564	1Lap	2'40.626
***** 以上完走 (規定周回数 6Laps) *****												
69	NAT	-			GC 向田 克章	BlackBikeDan	Honda/NSF250R	DL	5	13'28.409	3Laps	2'39.201
47	NAT	-			GC 石川 颯人	RSG レーシング	Honda/NSF250R	DL	3	8'05.427	5Laps	2'40.125
83	NAT	-			青沼 隆司	K&T with macwestern (株)青沼塗装工業	Honda/NSF250R	BS	1	2'52.066	7Laps	2Laps
71	NAT	-			GC 中山 結互	Team Yugo with Garage F	Honda/NSF250R	DL	0	-	-	-
37	NAT	-			大内田 未来	B~dash106 RS RAIJO	Honda/NSF250R	BS		スタート出来ず		

Fastest Lap

INT	2'36.494 (6 / 8)	133.907 km/h	19	戸高 輪太郎 / Team HRS
NAT	2'36.229 (8 / 8)	134.134 km/h	51	長谷川 蒼馬 / Team HRS

Start Time :9:01'04 Finish Time :9:22'07

Entry :24 Start :23 Finish :19

WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。

[GC]はダンロップ杯グランドチャンピオンシップ登録ライダー
GET-HOT賞、XPD賞、ジュベットレザーハウス賞は各クラス1位から3位が対象。
バトルファクトリー賞 (NSF250R Challenge 1位) No.51



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯

鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



レースレポート(3)

ST1000 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■インターST1000 YouTubeライブ動画アーカイブ

9月7日に開催された岡山選手権の決勝レース中に転倒して負傷し、2週後の鈴鹿サンデー第3戦を欠場ノーポイントでランキングも3番手に下げることになったが、10月の全日本MFJグランプリで復活した山中将基が、公式予選で2分10秒496のトップタイムをマーク。第3戦で優勝を果たしランキングリーダーに立っていた中堀拓己が続いた。その中堀がサイティングラップでまさかの転倒。2番グリッドが不在のまま、ウェット宣言の2周減算に加え、さらに1周減算され、7周で行われることになった決勝レースがスタートする。

ポールポジションスタートの山中が良いクラッチミートを披露してホールショットをゲット。それに5番グリッドスタートの安達勝紀、4番グリッドスタートの片平亮輔と続く。山中はオープニングラップから後続を引き離すことに成功。片平、3番グリッドスタートの澤村元章、安達と続いてオープニングラップを終了する。山中は周回ごとに後続とのアドバンテージを広げ続ける好走を披露。結局、手負いの山中が2番手以降に26秒990ものアドバンテージを築いて2年連続シリーズチャンピオンに輝いた。

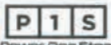


インターST1000決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



インターST1000表彰式(優勝:山中将基:2025チャンピオン、2位:片平亮輔、3位:澤村元章)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



ST1000 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■インターST1000 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

No 22

Weather :Rain

Track :Wet

Full Course 2-Wheels(5,821m)

Pos	No	Rider	Team	Type Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	33	山中 将基	チーム備前精機	Honda/CBR1000RR-R DL	7	17'57.141		2'33.032
2	19	片平 亮輔	MC Racing with 8810R	Honda/CBR1000RR-R DL	7	18'24.131	26.990	2'35.933
3	62	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	18'33.289	36.148	2'36.887
4	55	安達 勝紀	NICHIRIN RACING	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	18'40.895	43.754	2'38.428
5	11	羽野 慎一	オートライノノ乱乱	Honda/CBR1000RR SP2 DL	7	18'56.470	59.329	2'41.290
6	48	吉原 匡徳	BALZ & ADVANCE MC with 大徳機設工業	Honda/CBR1000RR-R DL	7	19'13.400	1'16.259	2'40.784
7	58	村瀬 豊	MOTO WIN RACING	Honda/CBR1000RR-R DL	7	19'22.757	1'25.616	2'44.284
8	8	村田 司	RTジャパンエムオート	Honda/CBR1000RR-R DL	7	19'22.885	1'25.744	2'42.568
9	25	野島 由晶	Team38	Kawasaki/ZX-10R DL	7	19'23.721	1'26.580	2'44.762
10	52	山極 洸士	極 Road Project	Honda/CBR1000RR-R DL	7	19'24.434	1'27.293	2'43.232
11	76	沖永 博一	Team Mercury with Detour	Honda/CBR1000RR-R DL	7	19'26.291	1'29.150	2'43.866
12	72	中尾 泰三	Team MERCURY with 72Project	Honda/CBR1000RR DL	7	19'33.230	1'36.089	2'44.193
13	6	福永 大輔	Out Run slick head	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	19'49.298	1'52.157	2'48.083
14	91	中山 智博	Team91孫悟空&G.H.H&PROGRESS	Kawasaki/Ninja ZX-10R DL	7	20'09.677	2'12.536	2'50.631
15	79	妹尾 顕太	Team EBATA & Power One Stop	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	20'38.048	2'40.907	2'54.901
16	53	山崎 清公	ドリムハウス	YAMAHA/YZF-R1 DL	6	18'01.437	1Lap	2'57.050
***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****								
67	和	和多瀬 邦治	DOGFISH・オーテック鈴鹿	YAMAHA/YZF-R1 DL	2	7'19.995	5Laps	4'24.906
3	荒	荒川 雅彦	TeamマツナガKDC with M&Y	YAMAHA/YZF-R1 DL	1	2'48.141	6Laps	1Lap
15	永	永山 翔太	チーム・エッセンシャルファクトリー	YAMAHA/YZF-R1 DL	1	3'48.816	6Laps	1'00.675
73	澤	澤村 俊紀	平成レーシング&不燃内装社	Honda/CBR1000RR-R DL	0			-
26	中	中堀 拓己	TEAMエバタ&Power One stop	YAMAHA/YZF-R1 DL				-
24	豊	豊田 浩史	D;REX	Honda/CBR1000RR-R DL				-
7	池	池主 永	立秋モータース&RC甲子園グリッター-NRF	YAMAHA/YZF-R1 DL				-
5	辻	辻尾 裕司	立秋モータース&RC甲子園&ヘッドハンター	YAMAHA/YZF-R1 DL				-

Fastest Lap

2'33.032 (4 / 7) 136.936 km/h 33 山中 将基 / チーム備前精機

Start Time :10:18'27 Finish Time :10:36'24

Entry :24 Start :20 Finish :16

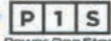
WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。
MFJ国内競技規則付則4 18-4-11スタートデイレッドによる7周(1周減算)のレースとした。

GET-HOT賞、XPD賞、ジュベットレザーハウス賞は1位から3位が対象。
J-TRIPお助けリフター賞 No.33



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



レースレポート(4)

ST600 Supported by BRIDGESTONE

■ナショナルST600 YouTubeライブ動画アーカイブ

公式予選では森山湊がA・Bグループ合算で2番手以降を1秒764引き離す2分12秒380をマーク。これは2018年に荒川晃大がマークした2分14秒416というそれまでのコースレコードを2秒以上も上回る圧倒的なタイムでのポールポジション獲得となった。決勝レースを前にサイティングラップでランキング2番手の田中壮途が転倒。しかし、田中はすぐに再び走り出し、グリッドにつくことができた。

その中で始まった決勝レースでは、2番グリッドスタートで初タイトルを狙うターナー健人が良いクラッチミートを披露し、トップで1コーナーへ。ポールポジションスタートの森山がスプーンカーブでそのターナーをパスする。森山、ターナー、4番グリッドスタートの田中のオーダーでオープニングラップを終了。それに3番グリッドスタートの芝本友暉が続く。森山は次第に単独トップに。ターナーも単独2番手となる。しかし森山が3周目の最終コーナーで転倒。これにより有利な展開になったターナーに藤原臣之助が急接近し、ターナーをパス。その藤原がトップチェッカーを受けた。チャンピオンを獲得したのは2位のターナーだった。



ナショナルST600決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



ナショナルST600表彰式(優勝:藤原臣之助、2位:ターナー健人:2025チャンピオン、3位:芝本友暉)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



ST600 Supported by BRIDGESTONE

■ナショナルST600 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No. 24

Weather : Rain

Track : Wet

Pos	No	Rider	Team	Type Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	71	藤原 臣之助	SSRT Bahati&TECH-R	Honda/CBR600RR BS	8	21'02.199		2'35.457
2	38	ターナー 健人	Takeishi Technical Racing	Honda/CBR600RR BS	8	21'02.609	0.410	2'35.541
3	37	芝本 友輝	club M-factory	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'05.343	3.144	2'35.652
4	72	竹本 周平	浜松チームタイタン	SUZUKI/GSX-R600 BS	8	21'16.036	13.837	2'37.283
5	17	大金 智量	TT.moto + LANDIX	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'16.211	14.012	2'37.082
6	29	下谷 邦夫	悪玉mini倶楽部	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'22.840	20.641	2'38.080
7	74	岡本 淳希	MOTO WIN RACING	Honda/CBR600RR BS	8	21'23.625	21.426	2'37.562
8	83	上村 大輔	のぼのレーシング+永谷会63	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'49.903	47.704	2'40.510
9	46	山下 尚紀	ホンボ CRT	Honda/CBR600RR BS	8	21'50.347	48.148	2'40.934
10	28	増田 利幸	NiwaSho Racing Team	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'58.395	56.196	2'40.469
11	33	笹之内 英作	FAST with クレオサービス&クレオネット	Honda/CBR600RR BS	8	21'59.377	57.178	2'43.770
12	45	櫻 拓斗	磐田レーシングファミリー	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'04.556	1'02.357	2'38.030
13	96	日野 康弘	ホテルキャスルイン鈴鹿&山科カワサキ	Kawasaki/ZX-6R BS	8	22'15.358	1'13.159	2'42.176
14	59	桐原 健二	SMF&SILK Racing With GENIUS	Honda/CBR600RR BS	8	22'17.738	1'15.539	2'43.861
15	13	佐々木 颯汰	club Taira Promote	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'27.788	1'25.589	2'45.333
16	48	松井 理充	ラウンス withファミリー歯科かりや	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'27.819	1'25.620	2'44.514
17	39	藤井 周	のぼのレーシング+悪玉mini倶楽部	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'37.196	1'34.997	2'44.917
18	52	藤本 優杜	MOTO WIN RACING	Honda/CBR600RR BS	8	22'44.169	1'41.970	2'48.638
19	4	北岸 亜斗夢	RT7スファルトBoys+M-factory	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'44.605	1'42.406	2'47.435
20	5	早野 康平	club M-factory	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	22'45.834	1'43.635	2'47.004
21	14	森兼 一貴	Honda 双友会 Tochigi Racing	Honda/CBR600RR BS	8	22'50.498	1'48.299	2'46.760
22	15	坂本 真吾	GreenSports RT&WAKO'S Tricky	Honda/CBR600RR BS	8	22'50.604	1'48.405	2'47.312
23	3	高田 敦史	TeamA24-designstudio shin&望月医院	Honda/CBR600RR BS	8	22'51.161	1'48.962	2'47.164
24	88	中橋 黎	浜松チームタイタン	SUZUKI/GSX-R600 BS	8	23'03.477	2'01.278	2'47.860
25	30	小池 裕次	赤い3輪車レーシングクラブ	Honda/CBR600RR BS	8	23'04.957	2'02.758	2'49.928
26	7	白井 直樹	SETTES TTR チームスガイ	Honda/CBR600RR BS	8	23'17.198	2'14.999	2'50.093
27	77	松本 辰仁	ハイカーズステーション金沢	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	23'27.090	2'24.891	2'52.172
28	2	廣野 誠	Team de"LIGHT with HironoSport	Honda/CBR600RR BS	8	23'28.069	2'25.870	2'52.754
29	61	飯島 高広	Team EBATA&Power one stop	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	23'32.912	2'30.713	2'51.981
30	24	西山 純一	遠州屋	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	23'34.056	2'31.857	2'53.048
31	69	永井 一幸	KIT Racing	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	23'34.646	2'32.447	2'53.538
32	75	磯部 隆昌	MOTO WIN RACING	Honda/CBR600RR BS	8	23'34.958	2'32.759	2'53.448
33	95	鎌谷 安浩	BLACKZONE & MOTOMATZ	YAMAHA/YZF-R6 BS	7	21'29.772	1Lap	2'59.596
34	34	植田 健一	TeamマツナガKDC&YSP名古屋北/天白	YAMAHA/YZF-R6 BS	7	21'40.623	1Lap	3'02.890
***** 以上チェッカー *****								
35	93	田中 杜途	CHU CHU レーシング+RLUNZ	YAMAHA/YZF-R6 BS	6	15'55.496	2Laps	2'37.366
36	36	三村 豊	Team36(有)多気鉄筋	Kawasaki/ZX-6R BS	6	19'30.396	2Laps	3'06.663
***** 以上完走 (規定周回数 6Laps) *****								
31	池田 健一	立秋モータース&RC甲子園グリッター	YAMAHA/YZF-R6 BS	5	16'17.875	3Laps	1Lap	3'05.647
47	柏原 信太郎	MOTO WIN RACING	Honda/CBR600RR BS	4	10'33.169	4Laps	1Lap	2'35.904
6	森山 理	Webike TEAM Norick	YAMAHA/YZF-R6 BS	2	5'16.575	6Laps	2Laps	2'36.740
90	伊藤 圭	club M-Factory	Kawasaki/ZX-6R BS	2	5'57.733	6Laps	41.158	2'53.938
12	白岩 直樹	浜松チームタイタン	SUZUKI/GSX-R600 BS	1	2'42.368	7Laps	1Lap	-
11	梅崎 主計	オートライフハナ乱	YAMAHA/YZF-R6 BS	スタート出来ず				
66	川原 龍次	アタダミニクラブwithディーター	Honda/CBR600RR BS	スタート出来ず				
63	長尾 俊輔	ブルーポイント 悪玉mini倶楽部	YAMAHA/YZF-R6 BS	出走せず				

Fastest Lap

2'35.457 (3 / 8) 134.800 km/h 71 藤原 臣之助 / SSRT Bahati&TECH-R

Start Time :11:11'08 Finish Time :11:32'10

Entry :44 Start :41 Finish :36

WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。

GET-HOT賞、XPD賞、ジュベトレザーハウス賞は1位から3位が対象。
J-TRIPお助けリフター賞 No. 71



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



レースレポート(5)

■インターJSB1000 YouTubeライブ動画アーカイブ

今シーズンの開幕戦と第2戦で2戦連続ポールtoウィン飾っている伊藤勇樹が公式予選で2分09秒924をマーク。第3戦には出場しなかった伊藤が今シーズン3回目のポールポジションを獲得することとなった。

スタートできないマシンがあったことにより、レースはディレイ。さらに1周減算され、7周で争われることとなった決勝レースでは、ポールポジションスタートの伊藤(勇)と2番グリッドスタートの長谷川修大が横並びの状態では加速していく。ホールショットを奪ったのは伊藤。3番グリッドスタートの高橋直輝が長谷川をかわすと伊藤の背後にも接近する。

伊藤をパスした高橋、伊藤、長谷川のオーダーでオープニングラップを終了。高橋は次第に伊藤を引き離して単独トップに。伊藤、長谷川も単独2番手、単独3番手になる。伊藤のマシンが5周目に失速。それにより、長谷川が2番手に浮上する。長谷川は一時的にペースアップするが、高橋をパスするには至らず、高橋、長谷川、伊藤のオーダーで表彰台に立つこととなった。伊藤がチャンピオンを獲得した。



インターJSB1000決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



インターJSB1000表彰式(優勝:高橋直輝、2位:長谷川修大、3位:伊藤勇樹:2025チャンピオン)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



■インターJSB1000 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No 27

Weather :Rain
Track :Wet

Pos	No	Rider	Team	Type Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	7	高橋 直輝	Honda向陽会ドリームレーシングチーム	Honda/GBR1000RR-R BS	7	17'39.005		2'29.575	
2	76	長谷川 修大	Honda ブルーヘルメットMSC	Honda/GBR1000RR-R DL	7	17'48.427	9.422	2'31.061	
3	71	伊藤 勇樹	ばくおん!!EDPアシスタントRPT長野&Teamマツナガ	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	17'52.543	13.538	2'30.645	
4	75	櫻山 茂昇	ばくおん!!RPT長野&Teamマツナガ	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	17'58.899	19.894	2'32.548	
5	54	宮腰 武	磐田レーシングファミリー	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	18'03.450	24.445	2'33.109	
6	41	羽根 巧	Teamマツナガ KDC×GEARS	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	18'13.503	34.498	2'34.915	
7	36	左村 英祐	トライボイント&Factory HIRO FUCHS Silkolene	SUZUKI/GSX-R1000R DL	7	18'29.993	50.988	2'36.104	
8	3	荒川 雅彦	Teamマツナガ KDC with M&Y	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	18'31.447	52.442	2'35.894	
9	61	片岡 誉	Team deLIGHT	DUCATI/Panigale V4R PI	7	18'41.700	1'02.695	2'34.927	
10	13	柴田 義将	Taira Promote Racing	BMW/M1000RR DL	7	18'49.139	1'10.134	2'38.756	
11	77	加藤 高史	Honda 双友会 Tochigi Racing	Honda/GBR1000RR-R DL	7	18'55.852	1'16.847	2'40.378	
*12	64	福山 京太	TEAM FKWorks Hiroko	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	18'56.463	1'17.458	2'38.586	
13	25	遠藤 晃慶	磐田レーシングファミリー	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	18'57.229	1'18.224	2'40.652	
14	26	久野 光博	VERITY & fenice鳥取久野巧業 with 麒麟獅子	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	19'04.701	1'25.696	2'41.019	
15	23	大須賀 俊晴	DOG HOUSE FUCHS Silkolene	SUZUKI/GSX-R1000R DL	7	19'24.306	1'45.301	2'44.014	
16	35	今津 比呂志	プラスワン MCRT	Kawasaki/ZX-10R DL	7	19'34.770	1'55.765	2'44.716	
17	99	竹中 貴盛	ICURTwth山本製作所&伊東電気	YAMAHA/YZF-R1 BS	7	19'35.667	1'56.662	2'44.121	
18	2	高居 京平	磐田レーシングファミリー	YAMAHA/YZF-R1 DL	7	19'41.432	2'02.427	2'47.125	
19	5	伊東 歩樹	Honda 双友会 Tochigi Racing	Honda/GBR1000RR-R DL	7	19'49.126	2'10.121	2'47.705	
20	55	中村 浩	Honda向陽会ドリームレーシングチーム	Honda/GBR1000RR BS	7	20'00.433	2'21.428	2'49.223	
***** 以上完走 (規定周回数 5Laps) *****									
91	辻 敏彦	TIO Verity		BMW/S1000RR BS	1	2'48.143	6Laps	6Laps	-
28	富江 慧	Honda ブルーヘルメットMSC		Honda/GBR1000RR-R DL	1	5'18.148	6Laps	2'30.005	-
9	服部 亮我	磐田レーシングファミリー		YAMAHA/YZF-R1 DL	スタート出来ず				
57	平城 彰雄	ファンファクトリーとCSスタンス&立秋M&RAIJO		BMW/S1000RR BS	出走せず				

Fastest Lap

2'29.575 (6 / 7) 140.101 km/h 7 高橋 直輝 / Honda向陽会ドリームレーシングチーム

Start Time :13:03'17 Finish Time :13:20'56

Entry :24 Start :22 Finish :20

*1 No.64は、訓戒(始末書提出) MFJ国内競技規則 付則4 18-4-6(スタート方法)

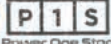
WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。
MFJ国内競技規則付則4 18-4-11スタートデレイドによる7周(1周減算)のレースとした。

GET-HOT賞、XPD賞、ジュベットレザーハウス賞は1位から3位が対象。
J-TRIPお助けリフター賞 No.7



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



レースレポート(6)

ST600 Supported by BRIDGESTONE

■インターST600 YouTubeライブ動画アーカイブ

今シーズンの全日本ST600でチャンピオンを獲得した伊達悠太をはじめとする全日本ライダーが多数参戦したこのカテゴリー。公式予選ではその伊達がアタック1周目に2分11秒564をマークすると、次の周では2分10秒764をマークしてコースレコードを更新する堂々のポールポジション。

相変わらずヘビーレインの決勝レースでは、4番グリッドスタートの千田俊輝が良いクラッチミートを披露してホールショットを奪うと、それにポールポジションスタートの伊達が続く。3番グリッドスタートの亀井雄大が伊達をパス。しかし、千田、伊達、亀井のオーダーでオープニングラップを帰ってくると、伊達と亀井は激しく順位を入れ替えるバトルを展開。その間に千田が逃げ、一時的に単独トップの座を築く。

伊達と亀井から若干離れ、2番グリッドスタートの長尾健史が単独4番手を走行。さらにそこからさらに後方、5番グリッドスタートの上江洲葵要が単独5番手となる。4周目になると伊達と亀井が千田に接近。激しくトップの座を争うその3台から亀井が脱落する。その後2台によるバトルを制した伊達がトップチェッカーを受けた。すでに前回大会で2025チャンピオンを決めた笠井杏樹は9位でフィニッシュしている。



インターST600決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat.



インターST600表彰式(優勝:伊達悠太、2位:千田俊輝、3位:亀井雄大)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



ST600 Supported by BRIDGESTONE

■インターST600 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No 28

Weather :Rain

Track :Wet

Pos	No	Rider	Team	Type Tire	Lap	Total Time	Gap		Best Time
1	64	伊達 悠太	AKENO SPEED・MAVERICK	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	19'46.826			2'26.887
2	13	千田 俊輝	SE COMPETITION	Honda/CBR600RR BS	8	19'47.013	0.187	0.187	2'26.882
3	33	亀井 雄大	RTJapan M Auto and Kamechans	Honda/CBR600RR BS	8	19'51.729	4.903	4.716	2'27.991
4	21	長尾 健史	TEAMけんけんwithBEE YTch	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	20'02.351	15.525	10.622	2'27.851
5	72	上江洲 葵	AKENO SPEED・MAVERICK	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	20'05.505	18.679	3.154	2'28.515
6	41	酒井 隆嗣	TeamマツナガKDC&YSP名古屋北	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	20'18.058	31.232	12.553	2'30.625
7	36	川本 宜論	Team SumTechno	Honda/CBR600RR BS	8	20'27.087	40.261	9.029	2'31.197
8	22	岸田 尊陽	SPEED SHOP FUSE_Team Kissy × TSR	Honda/CBR600RR BS	8	20'27.735	40.909	0.648	2'30.825
9	34	笠井 杏樹	TOHO Racing	Honda/CBR600RR BS	8	20'31.068	44.242	3.333	2'31.408
10	17	塚原 溪介	MOTO WIN RACING	Honda/CBR600RR BS	8	20'31.174	44.348	0.106	2'31.222
11	31	福田 琢巳	Team F.C.C.	Honda/CBR600RR BS	8	20'38.448	51.622	7.274	2'32.692
12	52	鈴木 慎吾	MOTO WIN RACING & TSR	Honda/CBR600RR BS	8	20'40.265	53.439	1.817	2'33.269
13	8	竹本 倫太郎	AKENO SPEED*AK1TECH	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	20'45.498	58.672	5.233	2'30.823
14	15	岩田 凌吾	ITALTRANS Racing Team	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	20'46.345	59.519	0.847	2'33.960
15	37	宮崎 隼	BATTLE FACTORY	Honda/CBR600RR BS	8	20'57.709	1'10.883	11.364	2'35.062
16	30	森島 諒	SSRT Bahati&TECH-R	Honda/CBR600RR BS	8	21'11.287	1'24.461	13.578	2'37.407
17	5	平城 雄飛	FUN FACTORY+立秋M グリッター	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'15.379	1'28.553	4.092	2'38.317
18	20	坂本 佑心	RTジャパンエムオート&RSC	Honda/CBR600RR BS	8	21'18.392	1'31.566	3.013	2'33.956
19	50	榊原 史典	モトキッズ・MOTOR ENGINEER&大塚ヘンキ	YAMAHA/YZF-R6 BS	8	21'20.601	1'33.775	2.209	2'36.852
20	4	中村 敬司	TTSspeedheartレーシングKEIZY38	Honda/CBR600RR BS	8	21'43.587	1'56.761	22.986	2'36.167
***** 以上完走 (規定周回数 6Laps) *****									
51	樋口 幸博	T.モトキッズ'中日本自動車短大シセツ	YAMAHA/YZF-R6 BS	5	14'09.776	3Laps	3Laps	2'40.298	
29	塚本 武蔵	オートショップ'塚本レーシング!	YAMAHA/YZF-R6 BS	1	2'46.720	7Laps	4Laps		-
55	大中 真次	GreenSports RT&WAKO'S+AZ Racing+ナリデ'n	YAMAHA/YZF-R6 BS	1	6'52.464	7Laps	4'05.744		-
3	関口 智大	APPLE HOME RACING	Honda/CBR600RR BS	0	-				-

Fastest Lap

2'26.882 (7 / 8) 142.670 km/h 13 千田 俊輝 / SE COMPETITION

Start Time :13:50'39 Finish Time :14:10'25

Entry :24 Start :24 Finish :20

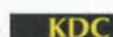
WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。

GET-HOT賞、XPD賞、ジュベットレザーハウス賞は1位から3位が対象。
J-TRIPお助けリフター賞 No.64



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。
https://www.suzukacircuit.jp/result_s/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



レースレポート(7)

ST1000 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■ナショナルST1000 YouTubeライブ動画アーカイブ

公式予選では今シーズン2回ポールポジションを獲得している古田浩が2分17秒794をマーク。ランキング5番手の塩野仁史が2分17秒990、ランキング3番手の竹中淳雄が2分18秒942をマークしてそれに続き、古田が今シーズン3回目のポールポジションを獲得する予選となった。

チャンピオン候補の一角、ランキング6番手の田辺利治がサイティングラップで転倒。決勝レースでは3番グリッドスタートの竹中がホールショットを奪うと、それに4番グリッドスタートの小森直樹が続く。竹中をパスした小森がオープニングラップから早くも後続を引き離すことに成功。そこから若干離れ、ポールポジションスタートの古田が2番手を走行する。古田は小森をパスしたが、その古田が2周目の最終コーナーで転倒。池田寛之がトップに浮上すると、そのままチェッカーを受けた。単独走行となっていた塩野に小森と竹中が接近しかけたが、塩野が2位。3位チェッカーを受けた小森がシリーズチャンピオンを獲得することとなった。



ナショナルST1000決勝レース(11/9)ライブアーカイブ ※画像をクリックするとYouTubeライブに遷移します



ナショナルST1000表彰式(優勝:池田寛之、2位:塩野仁史、3位:小森直樹:2025チャンピオン)

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯

鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun. 2025



ST1000 DUNLOP OFFICAL TYRE SUPPLIER

■ナショナルST1000 正式決勝結果



SUZUKA CIRCUIT

Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No 30

Weather :Rain

Track :Wet

Pos	No	Rider	Team	Type Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	26	池田 寛之	立秋モータース&RC甲子園・NRF	YAMAHA/YZF-R1 DL	8	21'46.666		2'41.117	
2	21	塩野 仁史	小浜二輪庫はエンヤ&KIT	Kawasaki/ZX-10R DL	8	21'51.794	5.128	2'41.460	
3	70	小森 直樹	Teamマツナガ KDC with KPS	YAMAHA/YZF-R1 DL	8	21'52.896	6.230	2'41.568	
4	22	竹中 淳雄	Team MERCURY with 72Project	Honda/GBR1000RR-R DL	8	21'53.047	6.381	2'41.785	
5	89	山口 慎太郎	ニャンダコクラブワークス	Kawasaki/ZX-10R DL	8	21'58.276	11.610	2'41.781	
6	99	杉本 慎平	Team de"LIGHT	DUCATI/1199Panigale S DL	8	22'00.993	14.327	2'42.318	
7	8	立秋 幸治	立秋モータース&RC甲子園 グリッター	YAMAHA/YZF-R1 DL	8	22'34.878	48.212	2'45.946	
8	57	中島 運己	CSスタンス ファンファクトリー NRF	BMW/S1000RR DL	8	22'35.363	48.697	2'46.875	
9	66	坂本 栄生	Team炒飯Film(公式)withニンジャ松原	Kawasaki/Ninja ZX-10R DL	8	22'46.200	59.534	2'45.837	
10	24	西片 公	エンジン機工&TEAM PJS	Kawasaki/ZX-10R DL	8	22'55.352	1'08.686	2'48.485	
11	87	築瀬 達朗	Teamマツナガ KDC&ワイス'ラボ	YAMAHA/YZF-R1 DL	8	23'00.431	1'13.765	2'49.711	
12	47	中村 文崇	NiterraGr2輪部&RH宮島&ラスカルキックジム	Honda/GBR1000RR-R DL	8	23'02.228	1'15.562	2'48.177	
13	44	橋本 義則	Team de"LIGHT	DUCATI/Panigale R DL	8	23'22.447	1'35.781	2'52.177	
14	86	秦 英之	立秋モータース&RC甲子園ヤマハ	YAMAHA/YZF-R1 DL	8	23'23.817	1'37.151	2'52.468	
15	73	遠藤 卓也	putiHARC&meister with garage5	Honda/GBR1000RR-R DL	8	23'43.830	1'57.164	2'54.633	
*1	16	高橋 克典	Team de"LIGHT	DUCATI/Panigale V4R DL	8	23'47.335	2'00.669	2'51.697	
17	64	溝口 裕史	Team de"LIGHT	DUCATI/Panigale V4R DL	8	23'57.136	2'10.470	2'56.297	
18	10	齋藤 健太	DIYレーシング	SUZUKI/GSX-R1000R DL	8	24'03.968	2'17.302	2'51.824	
19	91	柴田 剛	MOTOSTEP RT & のぼのばレーシング	SUZUKI/GSX-R1000R DL	7	22'22.967	1Lap	2'54.530	
20	28	馬淵 建	匠建社	Honda/GBR1000RR DL	7	24'01.869	1Lap 1'38.902	3'22.270	
***** 以上チェッカー *****									
21	79	増井 諭	本格炭火料理火の鳥	Honda/GBR1000RR DL	6	18'11.438	2Laps 1Lap	2'50.590	
***** 以上完走 (規定周回数 6Laps) *****									
30	古田 浩	立秋モータースRC甲子園ヤマハ&ゆめふわ	YAMAHA/YZF-R1 DL	1	2'46.598	7Laps 5Laps	-	-	
56	伊藤 昭夫	MOTO WIN RACING	Honda/GBR1000RR-R DL	1	2'48.933	7Laps 2.335	-	-	
3	廣野 誠	Team de"LIGHT with HironoSport	DUCATI/1199Panigale DL	1	3'28.007	7Laps 39.074	-	-	
94	大谷 大輔	DOG HOUSE	SUZUKI/GSX-R1000R DL	0					
34	田辺 利治	小浜二輪庫with(株)田辺電工	YAMAHA/YZF-R1 DL		スタート出来ず				
36	岡部 直樹	meisterservicewithG	SUZUKI/GSX-R1000R DL		出走せず				
25	鎌田 康史	Team EBATA & Power One Stop	YAMAHA/YZF-R1 DL		出走せず				

Fastest Lap

2'41.117 (5 / 8) 130.064 km/h 26 池田 寛之 / 立秋モータース&RC甲子園・NRF

Start Time :14:46'24 Finish Time :15:08'10

Entry :28 Start :25 Finish :21

*1 No.39は、訓戒(始末書提出) MFJ国内競技規則 付則4 18-4-6 (スタート方法)

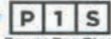
WET宣言のため、8周(2周減算)のレースとした。



★レースリザルトはウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.suzukacircuit.jp/result_s/

Series Sponsors





第61回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

The 61st NGK SPARKPLUGS CUP - SUZUKA Sunday Road RACE "Final Round" November 8 Sat. - 9 Sun, 2025



Voice of Pick up Riders -SUNDAY EDITION-

この日、キラリと光った
ライダーに一问一答

インター-ST1000で優勝、連覇を達成した

山中 将基 選手

(チーム備前精機/Honda CBR1000RR-R)



Q.他を圧倒する2分10秒496をマークしてポールポジションを獲得。どんな公式予選でしたか。

A. 身体はまだ万全と言える状態ではありませんが、出るからには良い走りをしたい、勝ってチャンピオンを獲得したいと考え、予選から気合を入れ、全開で攻めていこうと決めていました。ベストと言えるタイムではありませんでしたが、怪我が治り切っていないことを考えると、その中では良い走りができたと思います。

Q.好スタートからホールショットを奪うと、その後はアドバンテージを広げ続けました。

A. 決勝はフルウェットでした。身体が最後までもつかどうかかわらなかったのも、体力を使わずに済むウェット、しかも周回数が減算されたことは有利に働いたと思います。コンセントレーションを高め、最後まで集中して走った結果、後続を引き離してチェッカーを受けることができました。

Q.逆転で2年連続のインター-ST1000チャンピオンに輝きました。

A. 今年は大きな怪我をして第3戦を欠場することになりました。チャンピオン争いは厳しいかなと思っていたのですが、まだ望みがあるということで今回の最終戦に臨みました。欠場したレースがあったにも関わらず、2年連続でチャンピオンを獲得できて良かったです。来シーズンも3年連続のチャンピオンを目指して同じインター-ST1000に出場する予定です。

Series Sponsors

